

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年9月6日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力事業 完了報告書

平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

2018年9月6日

事業名	ヌワコット郡、ラスワ郡の被災小学校における防災能力強化事業 Strengthening Resilience of Earthquake Affected Schools in Nuwakot and Rasuwa district, Nepal	
事業対象地	ネパール ヌワコット郡、ラスワ郡	
事業期間	事業期間年：2017年2月28日～2018年月2月27日	
公的資金種別	平成28年度 日本NGO連携無償資金協力	
総支出・返還金	総支出：481,052米ドル（返還額：14,145米ドル）	
プロジェクト目標および、その達成度	本事業は「対象の小学校の防災レジリエンス（能力）が高まる」ことをプロジェクト目標とし、防災に配慮した学習環境の整備（学校再建）、防災教育、子どものストレス緩和や心のケアに有効である読み聞かせやレクリエーションといった図書を通じた活動（以下、図書館活動）、学校防災計画の策定、学校、行政や地域住民を対象とした防災計画に関するワークショップの実施を通じ、地域全体の防災能力の向上に取り組んだ。地域住民や保護者の防災に対する理解の向上など課題は残る部分もあるが、活動の結果プロジェクト目標の達成度はおおむね達成としたといえる。	
実施内容概要	（ア）教育省の耐震基準に準じた学校校舎の再建 ヌワコット郡の3校・13教室（ラムチャンドラ中学校：6教室1棟、シタ・ダルマ小学校：2教室1棟、シャンティ・デビ小学校：3教室1棟、2教室1棟）の校舎建設、水タンク、学校家具を設置した。耐震構造施設として復興庁の校舎建設の地方機関である Central Level Project Implementation Unit (CLPIU) に認定された。また教員・学校運営委員会を対象に学校の維持管理についての研修を各学校において実施した。対象校（3校）が再建された学校校舎を利用している。	受益者数 3校合計 17教室 349名 （児童）
	（イ）対象校の教員による図書館活動を通じた子どもたちの心のケア、防災教育の実践： ① 図書コーナーの設置：2017年に学校建設を実施した学校（以下建設校）3校とその周辺校（以下周辺校）8校の幼児クラスから5年生までの各教室に図書コーナー（本棚と約100冊の図書）を設置した。 ② 防災紙芝居（『地震はどうして起こるの？』、『学校で地震が起きたらどうする？』）作成：防災紙芝居を2タイトル、各150部ずつ作成した。作成した紙芝居は建設校3校、建設周辺校9校、2016年度に当会が建設を支援した2校の計14校に配布した。また図書館活動を行うNGOの要請に基づき、紙芝居活用法についての研修を実施したうえ	③ 14校から 56名の教員が 参加

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年9月6日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力事業 完了報告書

<p>で公立・コミュニティ図書館に対して70館に配布した。</p> <p>③ 図書活動研修：紙芝居配布対象14校の56名の教員を対象に図書活動研修（2日×2回）を実施し、1.防災についての基礎知識、2.図書コーナーの活用および運営方法、3.防災紙芝居の適切な演じ方等を教授した。</p>	
<p>（ウ）対象校における防災計画の策定： 教員、学校運営委員会を対象に学校防災計画策定研修を3回実施し、合計で12校（建設校3校、周辺校9校）から教員33名、学校運営委員会メンバー28名が参加した。ネパールで発生する災害知識（地震、土砂災害、雷、火災、洪水等）を学ぶと共に、防災専門家の監修のもと学校ごとに学校防災計画を作成し、災害時の危険箇所、避難経路、避難場所、役割を明確にした。</p>	12校の教員および学校運営委員会メンバー61人
<p>（エ）対象校の教員、学校運営委員会、地域住民、行政職員の防災に対する理解の向上： 策定した学校防災計画に基づいて、建設校3校、周辺校8校で避難訓練を行い、児童490名、教員55名、学校運営委員会および保護者25名が参加した。避難訓練の実施前に、学校運営委員会および保護者に対して学校防災計画を説明した。</p>	11校570名（うち児童490名）
<p>（オ）モニタリング・評価： 校舎建設については、雨季で建設工事が中断した時期を除いて、当会の建設エンジニアが各対象校1校につき月に2回モニタリングを行い、建設工事および資材の質の確保に努めた。 図書コーナーならびに防災紙芝居の活用については、これらの供与および研修後を終了した2017年12月以降、1回モニタリングを行った。 避難訓練の実施状況もすべての実施校でモニターした。</p>	

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年9月6日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力事業 完了報告書

成果	<p>(ア) 教育省の耐震基準に準じた学校校舎の再建</p> <p>【期待される成果】 教育省の耐震基準に準じて再建された学校校舎が利用される。</p> <p>【指標】 対象校(3校)が再建された学校校舎を利用している。</p> <p>【達成度】 達成。3校とも校舎完成後にヌワコット郡の教育省および復興庁の校舎建設監督機関である District Level Project Implementation Unit (DLPIU)の現地検証を受け、設計図通りに完成したことを認証する書簡を受領した。</p> <p>(イ) 対象校の教員による図書館活動を通した子どもたちの心のケア、防災教育の実践</p> <p>【期待される成果】 対象校の教員が図書館活動を通した子どもたちの心のケア、防災教育を実践できるようになる。</p> <p>【指標①】 対象校(3校)の教員の50%以上がおはなし、ゲーム、教材制作、場づくりを実施している</p> <p>【達成度】 3校の校長へのインタビュー調査により、教員22名のうち、図書(紙芝居等)の読み聞かせを実施した教員は68%にあたる15名であった。紙芝居は実演されているが、絵本の読み聞かせは実践されておらず、今後改善の余地がある。</p> <p>【指標②】 対象校(3校)の子供の50%以上が図書室もしくはコーナーを利用している</p> <p>【達成度】 3校の校長へのインタビュー調査結果および5年生26名への質問紙調査の結果、83%の児童が日常的に図書コーナーの本を読んでいる。また5年生の教室の図書コーナーに配架されている126冊のうち、1人当たり新学期の1か月間で30.5冊、1登校日あたり1.2冊の本を読んでいることを確認した。目標は達成された。</p> <p>(ウ) 対象校における防災計画の策定:</p> <p>【期待される成果】 対象校にて防災計画が策定される。</p> <p>【指標】 対象校(3校)の50%以上が独自の学校防災計画を利用している。</p> <p>【達成度】 3校とも学校の敷地、校舎の階数、配置、運動場のスペースに応じた学校防災計画を策定し、教員室に掲示している。また避難訓練を実施した。目標は達成された。</p> <p>(エ) 対象校の教員、学校運営委員会、地域住民、行政職員の防災に対する理解の向上</p> <p>【期待される成果】 対象校の教員、学校運営委員会、地域住民、郡教育局の職員が防災に対する理解が向上する。</p> <p>【指標①】 対象校(3校)の教員、学校運営委員会、地域住民、郡教育局の50%以上が防災に関する必要な知識を有している。</p> <p>【達成度】 対象3校の児童(5年生16名)、教員11名、学校運営委員会および地域住民(保護者)6名へのアンケート調査を防災活動前の2017年10月と2018年5月に同じ人物に対して行い、事業の効果を測定した。結果は以下の通りで目標値を達成している。(郡教育局職員は、連邦制度の導入により2017年度で解体したためデータを収集できな</p>
----	--

	った。)			
	質問	対象	事業前	事業後
	地震発生の原因を知っている。	児童	0%	50%
		教員	45%	91%
		SMC,保護者	0%	50%
	地震が起きた時どうすれば良いか知っている。	児童	50%	100%
		教員	100%	100%
		SMC,保護者	83%	100%
	また教員へのアンケート調査結果は、教員が防災についての理解が高まっただけでなく、防災について児童に教える能力も高まったことを示している。			
	質問		事業前	事業後
地震について児童に教えたことがある。		64%	100%	
地震が起きた時どうすれば良いのか児童に教えることができる。		64%	100%	
<p>【指標②】対象校(3校)に通う子ども及び親の50%以上が学校防災計画の存在を認知している。</p> <p>【達成度】3校の校長へのインタビュー調査結果は以下の通りで、児童については目標値を達成しているが、学校運営委員会および親の避難訓練の際に行った学校防災計画の説明会の参加者が25名と少ないため、親については未だ達成できていない。</p>				
	学校防災計画を理解している児童の割合	学校防災計画を理解している親の割合		
Ramchandra 校	60%	30%		
Sita Dharma 校	50%	35%		
Shanti Devi 校	65%	50%		
平均	58%	38%		
課題と対応策	<p>成果1の校舎建設については、校舎建設後の2017年12月に校舎の維持管理研修を当会の技術アドバイザーが実施した。校舎は学校に譲渡され、学校および連邦制度の開始に伴い各自治体の教育部が維持管理の責任を負うこととされている。完成後6カ月の瑕疵責任チェックを2018年6月に行い、必要な修繕を建設業者が行う。その後、修理が必要な場合、学校運営委員会および自治体教育部が予算措置を行い、修繕工事を行う。</p> <p>成果2の図書活動については、各教室に供与した図書は有効に活用されていることがモニタリング調査によって確認されたが、図書は補充しなければならないので、学校の補助金を活用して、学校が独自に図書を購入する。またモニタリング調査によって、絵本の読み聞かせは実践されていないことが明らかになったため2年次以降、モ</p>			

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年9月6日

報告書名：平成28年度 日本 NGO 連携無償資金協力事業 完了報告書

ニタリング時にブラッシュアップ研修を行うなどフォローアップを行う必要性がある。

発行した防災紙芝居は、ネパールで初めての取り組みであり、他の NGO や図書館から供与の要請があったため、80部を供与した。次年度においても紙芝居の演じ方の研修を行い、供与先で有効に活用されることを確認したうえで、配布を行う。これにより、本事業の波及効果が期待できる。

成果3の学校防災計画については、2年次以降においても各学期において1回、避難訓練を行い、防災活動の定着を図るとともに、必要な場合は防災計画の修正を行う。

成果4のコミュニティの啓発については、次年度において1年目の対象校に対してハザードマップの作成と発表会を、住民を巻き込んで実施する。また、避難訓練実施時に保護者への学校防災計画の説明を行うこととする。